

平成28年6月24日(金) 14:30~16:00

<会議室にて>

① 校長挨拶

- ・近年の教育界はグローバル化が進んできている。
- ・私の教育の基本は、「知・徳・体」
- ・昨年で40周年を迎えた。(3月に38期生の卒業式、4月に41期生の入学式を挙行)
- ・昨年よりも今年、今年よりも来年と年々良くしていきたい。
- ・本校の生徒の現状を踏まえて、今後のイズトリについてご提言いただきたい。

② 校長より各委員に委嘱

③ 出席委員・事務局紹介(敬称略、順不同)

比嘉 悟 氏	寺脇 久人・橋本 敏和・川瀬 治彦・星野 恵美・安田 寛
内村 清彦 氏	三宅 史朗・鮎川 哲也・酒井 浩平・栗原 重彦・野間 健二
小島 久美子 氏	唐見 正二・多賀 絢香・中谷 大輝・宮本 みどり
坂上 尚大 氏	延本 薫音・村田 圭吾・三好 絢子
大久保 宏俊 氏	
仲谷 成子 氏	

④ 会長指名

委員の互選により、比嘉 悟氏を会長に指名

比嘉 悟氏より挨拶

- ・他校の協議会委員もやらせていただいている。
- ・私もかつて大阪府で校長をやらせていただいていた経験からも、学外からのいろいろな意見というのは、大変参考になるものである。
「昨年よりも今年、今年よりも来年と年々良くしていきたい」という校長の意向を組み、皆さんより忌憚ない意見をよろしくお願ひしたい。

⑤ 本校の概要についての報告

ア 進路関係

本校の進路状況について

- 各学年の進路希望調査について
 - ・進学：就職＝1：1の割合
 - ・1年と2年の数字の違いは、未定の数であり、2年になり増加している。
 - ・未定の数の多さは気になっていたが、年々減少しつつある。
 - ・昨日で就職模擬面接を2回終えたところ。今年就職希望者は、150人いる。
- 昨年度までの卒業生の進路状況について
 - ・就職の数は横ばい状態。
 - ・昨年度は、未定の数が激減した。就職者数が、一昨年度比で増加。
面接指導等学年全体で取り組んだことも未定減少の一端をになっていると考えられる。
 - ・インターネット(公開)求人票が増え、そこからダウンロードした求人票も含めた。
- 就職支援サポーターにも協力願っている。

イ 生徒指導関係

- 近年の特別指導の件数は数年前から比べれば激減している。今年当初は若干増加。
近隣からの通報によるものが多々ある。
今後も、学校内外に渡り、地域とも連携して指導に当たる。

ウ 教務・保健・図書自治会・教育相談関係

- 時間の関係で割愛。

エ 学校教育自己診断

- 25年度～27年度にかけての経年変化について説明する。

オ 学校の近況等

- ホームページは、授業日はほぼ毎日更新している。
- 「イズトリだより」
岸和田以南の中学校へ、3年のクラス数+1を送付している。

※ 学校行事と重なり、担当教員が不在のところは、協議終了後の報告となった。

⑥ 学校経営計画についての報告・説明及び協議

ア 【校長より報告】

基礎学力を付け、規範意識を高め、進路未決定者を減らすことをめざしている。

○ 平成27年度についての報告

- ・ 昨年度は、経営計画に則り、進路指導室の整備を行った。
- ・ 中学校からの申し送りや「高校生活支援カード」の内容を受け、個別の支援計画を立てた。

○ 平成28年度についての説明

- 1 「生き抜く力」の基となる確かな学力を育む
- 2 安全で安心な学習環境の維持と自尊感情の育成
- 3 将来の生き方をデザインし、自ら学び続けることができる生徒を育む
- 4 自ら学び続ける教師集団を育む

※ 1～4について「学校経営計画」に沿って具体的に説明を行った。

イ 【協議委員よりの質疑及び意見】

協 「高校生活支援カード」作成によってどのような効果が得られたか。

A 懇談でも活用している。また、保健室からのデータと併用することにより、多方面から多角的にみることができ、学校で配慮できることが明確になった。

協 校内研修を行っているとのことだが、どのように行っているのか。

A 人権・教育相談が中心となり、外部講師を呼ぶなど計画して行っている。特に、教育相談においては、発達障がいについて中心に研修を行っている。(年間行事予定に組み込まれている)
また、今年度は、進路から「教員向け就職面接講座」、生活指導から「近年の指導事例の紹介及び検証」についての研修が行われる。

協 「学校経営推進費」「校長マネジメント予算」等は、生徒の環境を良くするためならどんどん使うことは良いことだと思う。

協 生徒の様子が年々変わってきていることは、実感している。
選択授業「ボランティア」での様子を見てみると、地域の方々と積極的に関わりを持っていて、2人の先生がついて、丁寧な指導がなされているように感じる。
多様な教育が実践できていると思う。

協 ボランティアの参加人数で記されている数字は、選択授業のみ的人数なのか。

A 夏休み中の有志のボランティア(障がい者のプール教室の介助)などの数字も含まれている。さらに生徒会の活動等も含めればもっと増えると思われる。

協 朝日幼稚園も選択授業「ボランティア」とは深く関わっている。

当園の園児たちを通して保護者や地域にも広がってきている。このように地域と深く関わることが、御校の強みだと思われる。

協 学校教育自己診断の結果をみると、学校の活動が保護者にあまり伝わっていないように思われる。保護者がもっと積極的に参加できるようにすればよい。

協 今年度初めより、進路指導室の場所を移転したようであるが、それによる変化はどうか。

A 登校・下校時の通り道に移転したため、早朝や下校時に生徒が良く利用するようになった。広いスペースに資料(求人票・学校案内等)を常設しているため、閲覧に来る生徒は確実に増えている。教員にも就職支援コーディネーターにも気軽に声を掛けられるようになった。個別相談の頻度が上がった。

ウ 【会長によるまとめ】

【良かった点】

進路・・・部屋の場所を移転したこと。進路決定率がアップしたこと。

地域・・・ボランティア等によって地域への貢献度が高い。

懲戒・・・減ってきている⇒学校が明るく元気になっている。

【改善して欲しい点(課題)】

・ せっかく良いことをしているのに保護者の方に伝わっていないことが多くあるのでは。

・ グローバル化が進むなか、生徒の地元志向が非常に強い。積極的に出て行かないと。

・ クラブ加入率約30%。1回でも参加できるような取組みを。クラブ活動は、教育の2本柱だと思っている。

⑦ 校長挨拶及び次回日程の確認

協 : 協議委員の方々からのご質問及びご意見 A : 本校よりの回答